

こどもどろろよろこ。



日本共産党北区国会議員  
さがらとしこ  
区政レポート

日本共産党議員団

2023.1.7.No.1908.

御相談はお気軽に

TEL とも 3905-0970

FAX とも 3905-0970

さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)

# 北区学校給食23区2番 完全無償化実施へ

「すべての小中学校が完全無償化する」と  
1月4日北区賀詞交歓会に明らか

党区議団や  
区民の運動実る

学校給食の完全無償化が、北区で実現したことは大変うれしいことです。

今、全国の自治体でこのとりくみが広がっています。その中、北区が23区中2番目に実現したことは、都内全域に広がってゆく力になると思います。全国にも広がってほしい。子どもたちも喜んでくれると思います。

秋山けんたろうさん談

北区は、①完全無償化は2023年度予算に盛り込み、4月から実施予定。

②対象となる児童生徒数は、約1万84人。③経費は年間、約11億円としています。

党区議団は毎年の予算要望、9月の代表質問では野口まさと議員が区長に実現を求めました。

労働組合や区民団体をつくる「区民要求実現北区連絡会」も昨年12月、完全無償化を区に要望していました。●全国に広げるため、国の財政支援を、単費で学校給食こそ。



2023.新春  
ね回対話のついで

## どうする赤羽の まちづくり...

北区まちづくり推進課  
作成のDVDをみて。

さがらとしこ区議の  
報告も聞いてください！

### 語りあいませんか！

(コロナ感染予防として、マスク着用とともに、会場の検温をお願いします。)

区立ゆき公園

とき 1月20日(金)  
2時~3時半  
(予定)

ところ ヌヴェル赤羽台  
(UR赤羽台団地)  
5号棟1F集会室



●今、赤羽駅東口側には馬前再開発で、3つのワンマンション計画や、赤羽小学校や赤羽公園とどうするかなどの問題が次々と。

●西口側は、赤羽台東小跡地半分とUR用地をあわせた、馬前の一等地に、分譲マンション計画。地上29階95mの高層。553戸が予定され、ガケ地(ジョサンの隣地・バス停のところ)を削って、赤羽台ゲートウェイがつけられる計画となっています。

●赤羽台東小跡地の残り半分には、北区初の区立児童相談所などがつくられることになっています。

語りあいましょうぞ。参加下記。

ね回対話のついで 秋山けんたろう  
実行委員長 (連絡先) 3905-0970

2023.1.7. 「さがらレポート」2面  
No.1908.

区議会第4回定例会 日本共産党北区議員団の本会議質問

## 高層建築計画の見直しを



個人質問 さがらとしこ

ゲートウェイ広場の建設とともに、地上29階、553戸の分譲マンションを誘致する赤羽台周辺のまちづくり計画について、区は12月からユニチュープ等で説明動画を公開するとしています。

さがら議員は、区民への説明は映像による資料提供だけではなく、対面式説明会とするよう求めましたが、区は「事業者による説明会は、今後の

設計等の進捗に応じ、適期に開催する」などと申し、開催の時期は明言しませんでした。

また、周辺環境や子育て教育環境への影響、長層震動などの危険に鑑み、ワーケーションの高さや数を抜本的に見直すよう、計画は「適法」として、応じない姿勢を示しま

## 物価高騰から暮らし守れ

代表質問 山崎 千

自のくらし応援給付金の抑えやインボイス制度の中止を国に要請するよう求めました。

新型コロナウイルス第8波の感染拡大に対しては、PCR検査体制の充実、早期診断・治療につながる体制の確保などを要望。区長からは、「区内50を超える薬局において、重症化

各薬局の在庫状況を把握するシステムを構築する」との答弁がありました。

環境政策では「北区版気候市民会議・若者会議」の設置を求め、区長も「市民の考えを自治体の政策に反映させ、ひとつの手法」と答えまし

## 茂子ども交流ももん

26日、志茂子ども交流で親子で紐をつくって探偵ももん〜しもっこを開催。私も参加しました。



（左）UR高層マンション（1/28）資料より

日本共産党 北区議会議員  
**のの山けん 区政レポート**  
No.665 2022.12.14  
日本共産党北区議員団  
〒114-8508 王子本町1-15-22  
このレポートは  
お電話にて 090-2156-3510

<https://ksen-nonoyama.com/> [mail@ksen-nonoyama.com](mailto:mail@ksen-nonoyama.com)

## 赤羽駅東口再開発で

# 赤羽公園がなくなる?



現在進められている赤羽駅東口まちづくりで、焦点となっている一つが赤羽公園の存続です。

2015年に策定された「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」では、赤羽小学校を「地域の拠点施設」と位置づけており、コロナ禍による中断後、今年度から再開した赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会では、赤羽小のあり方をはじめ、将来のまちづくりについて一層具体的

な検討を進めることが方針となっています。

5月から10月まで3回開かれた幹事会グループワークでは、「駅前再開発で教育環境に影響が出る赤羽小は赤羽会館や赤羽公園の位置に移してはどうか」との意見が出される一方、「赤羽小は現在の場所に存置すべき」との意見も出ています。

年明けには、これらの意見をふまえて、協議会事務局である区が「まちづくり提案」をまとめることになっています。

仮に、赤羽小を会館・公園の位置に移転するとなれば、赤羽公園がなくなることになり、高齢者や子どもなど公園を利用する区民に大きな影響が出ることは必至。駅前再開発の是非を含め、関係住民間での十分な議論が必要と見られます。（のの山けん）

## タワマン誘致ばかりのまちづくりで良いのか

北区では、駅前にタワマン呼び込む開発計画が目白押しです。十条駅西口では地上39階146メートル、578戸の再開発ビルを建設中。赤羽駅西口では学校跡地とUR用地の一体活用で、29階95メートル、553戸の超高層マンションを誘致する計画が示されました。タワマンばかりのまちづくりで良いのでしょうか。（のの山けん）



十条駅西口

赤羽駅西口